

コアシサシコロニーのモビング

～さぼっているのは誰だ！～

総合研究大学院大学 先端科学研究科
生命共生体進化学専攻
修士1年 西條未来

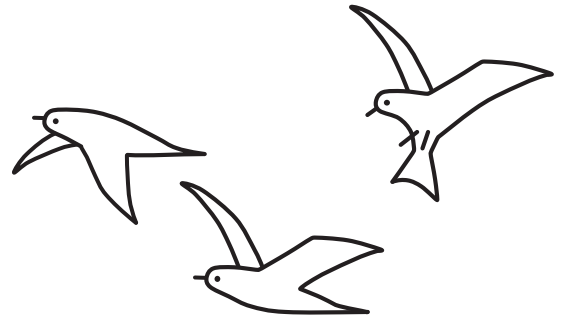
コロニーを作る鳥のモビングとは

- 捕食者に対して集団で攻撃をする
 - 抱卵・育雛期によく見られる
 - 個体間の協力が必要
- ☞ 今までの観察から、モビングに参加しない個体を確認

Q. いつ、どんな親がモビングをするのか？



e.g. ハヤブサ
成鳥を狙っている
→モビングをすると自分が
怪我をするリスクがある



1. 捕食者によってモビングをするかしないか決めているか？



e.g. カラス
雛・卵を狙っている
→モビングをしても自分が
怪我をするリスクは低い

2. モビングに参加しないのは どんな個体か？



モビングに参加しない個体
→子の数、抱卵時期、親の性別などが
関係する？

対象種

コアシサシ (*Sterna albifrons*)

- チドリ目 カモメ科
- 環境省レッドリスト絶滅危惧II類 (VU)
- 1~100つがいほどのコロニーを作り繁殖を行う
- 地面に巣を作り、2~3卵産む



調査地

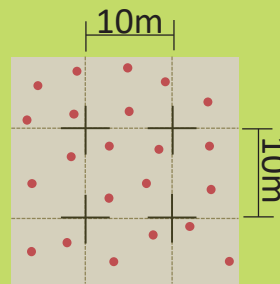
東京都 森ヶ崎水再生センター (最寄駅: 昭和島)
NPO法人リトル・ターン・プロジェクトにより、
巣の数、位置、子の数、営巣時期等が
記録される(週一回)



調査方法



①俯瞰で録画する



飛び立った時間、
方向が記録できる

1. 捕食者は誰か?

目視観察で捕食者の種類を記録する

2. モビングに参加する?しない?

インターバルカメラ(recolo)、ビデオカメラを用いて巣にいる、いないを記録する
周りの巣の個体は飛び立った(モビングが起こった)のに巣に残っている個体
→モビングに参加していない個体である可能性が高い

②インターバルカメラ



巣にいるかいないかわかる
→足環、ウィングタグ等で
オスメスの識別も可能

